

学年	中学1年	教科	社会	科目	社会	単位数	3
教科書名	中学生の地理・中学生の歴史 (帝国書院)			副教材名	中学校社会科地図 (帝国書院) 新中学問題集 (教育開発出版株式会社)		
クラス コース	中高一貫			担当者名	植田 裕子 / 片岡 康二		

I. 目標

[地理]

1. 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立つ地理的な見方や考え方の基礎を養う。
2. 地理的な基礎知識・概念・技能を確実に習得させる。
3. レポート作成や課題学習を通じて、適切な資料を選択・活用する力と思考・判断・表現力を育成する。

[歴史]

1. 歴史的な事柄に対する関心を高め、我が国の歴史に対する愛情と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 歴史的な基礎知識と我が国の歴史の大きな流れを確実に理解・習得させる。
3. レポート作成や課題学習を通じて、様々な資料を活用させ、歴史的な事象を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を育成する。

II. 授業のねらい

1. 物教材やDVD、課題学習や校外学習、発表コンクールなどを通じて、地理・歴史に関する興味関心を持たせる。
2. 国名、歴史的な重要人物などに関する反復学習を通じて、確実に基礎知識を身につけさせる。
3. セクションごとに問題演習の時間を設け、初見問題にも対応できる確かな学力を身につけさせる。

III. 授業の進め方

1. 地理・歴史分野の授業を学期ごとにまとめて行い、授業の進度を早める。
2. 教科書の記述だけでは不十分なので、資料集や問題集を有効的に活用する。
3. アクティブラーニングを実施し、授業内容の理解を深めさせる。(電子黒板・クラッシーノートの利用)
4. 授業は、配布される授業プリントを中心に進めていく。
5. 小テストを学期ごとに複数回実施し、基礎的な知識を身につけると同時に、勉強の習慣を身につけさせる。

IV. 学習上の留意点

1. 単発の記憶ではなく、いつ・だれが・どこで・何をして・どうなったかを関連付けて覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、授業内の内容を細かくメモし、付随する知識も身につけること。
3. 授業プリントおよび配布された資料は、必ずノートに貼って(もしくはファイルに入れて)管理すること。
4. 毎時、必ず教科書・ノート・図表・資料集を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。

V. 定期試験

小テスト	: 地理	世界の姿・世界各地の人々の生活と環境
1学期期末試験	: 地理	世界の諸地域 (アジア州、ヨーロッパ州)
2学期中間試験	: 歴史	第1部・第2部 第1章、第2章、第3章
2学期期末試験	: 歴史	第2部 第4 第3部
学年末試験	: 地理	第2部 (アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州)

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、課題学習の成果、授業への意欲・関心など

定期試験においては、用語の暗記のみならず、「ものごとについて説明できる力」を図る問題を設定する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	予定 時数	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	32	<地理分野> 第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 第2章 世界各地の人々の生活と環境 第3章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 ※各州における宗教分野については、 第2章でまとめて学習する。 ・夏休みの宿題として、レポート課題を課し、 レポートの書き方について指導する	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●世界の地域区分や国家の名称 をもとに、おおまかな世界地図が 書けるようになる。 ●世界の人々の生活・環境の多様 性を理解する。 ●世界各州の地域的特徴（歴史、 文化、自然など）を理解し、日本 との違いについて考察する。 ●世界各地域の特徴を理解する ことで現代の諸問題に向けた改 善策を主体的に模索する。
	5				
	6				
	7				
二学期	9	41	<歴史分野> 第1部 歴史の流れと時代区分 第2部 古代国家の成立と東アジア 第3部 武家政権の成長と東アジア	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●小学校で学んだ歴史知識と中 学の歴史学習のつながりを理解 する。西暦・世紀・元号・時代区 分など歴史の基礎的事項を理解 する。 ●各時代の政治や制度、文化の特 色について理解する。また、日本 と外国がどのような関わりがあ ったかを考察する。 ●鎌倉幕府、南北朝の争乱と室町 幕府、元寇などの東アジアの国際 関係、応仁の乱などを通じて武家 政権の特色を理解する。
	10				
	11				
	12				
二学期	1	25	<地理分野> 6節 オセアニア州 3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州 ※南アメリカ州については、春 休み中の課題として設定す る。	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●主題研究を行い、調査を行う際 の視点や方法を身につける。発表 や話し合いを通して学習を深め る。 ●世界各州の地域的特徴（歴史、 文化、自然など）を理解し、日本 との違いについて考察する。 ●世界の中での日本の立場や課 題を知り、自分の意見を持てるよ うにする。
	2				
	3				

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。